

H22年度 第2回 仁淀川地域アクションプランフォローアップ会議の概要

日時：平成23年2月4日（金）15:00～17:30
場所：日高村社会福祉センター2階ホール

1. 議事

(1) 全体スケジュールについて

- ・今後の産業振興計画フォローアップのスケジュールについて地域本部から説明。

(2) 地域アクションプランについて

1) 22年度までの取組状況等について

- ・22年度までの取組状況及び課題について地域本部から説明。

2) 23年度に向けて

- ・23年度に向けた地域アクションプランの見直しについて地域本部から説明し、改定の方向性を了承。
- ・追加、削除、分割により22年度当初36項目の地域アクションプランが23年度には38項目に拡大。

(3) 産業振興計画の改定等について

- ・産業振興計画の改定等について計画推進課等から説明。

【意見交換】

- ・ニューツーリズムモニターツアー（モニターツアーのチラシ記載）について、越知町という標記が1カ所もないが、吾桑の沈下橋をいの町所在と（仁淀川地域観光協議会が）勘違いしたのではないかと思うがどうか。
→今回の事業は、ニューツーリズムの補助金の募集の中で結構短い期間だったことや、最初の取組でもあり、基本的には全市町村を網羅するというのを目標にしたが、越知町の名前の記載が漏れ、このような形になったものと思うので、今後は気をつける。
- ・審査会が非常に厳しいという話は聞いているが、なかなか行政が民間企業のような費用対効果を算定し、どれだけの利益があるかというものを数字的には表しにくいと思う。去年の龍馬博で、当初は200億余りの経済効果が最終的に530億であった。県は15億出資しているが、これに対して、経済効果がどれくらいあったのかという数字的なものがあるかと思う。我々行政として投資する額に対し、どれだけ取り戻しているのかというのはなかなか難しいとは思いますが、そのあたりについてどのように考えているか。
→当初200億という数字は、日銀が試算して地域経済効果として、多分、産業連関か何かでやったものと思うが、最終的に入り込み客が当初の見込みよりはるかに増えたこともあり、500億になっていると思う。ただ、その計算は日銀が日銀の連関を使って算出したもので、産業振興計画の場合、補助金等の支出にあたって、雇用の創出とか地域資源を使っているかなどの要件を満たしているか、ということはあるが、最終的に全体で、産業連関で経済効果がこうだという示し方にはなっていない。
- ・行政が投資した15億がどんな形で返ってくるかということが、今のアクションプランの中で我々行政に求められるような気がする。また、住民に対してもこれだけ使って、どれだけの経済効果があるかという、行政がやっていることを表現できればと思う。

- 個々の地域アクションプランについては経済効果を説明することになっており、地域的な経済効果も付している。目標も定め、投資に対してどれだけ伸びるというふうな形では説明もしている。ただ、全体でといっても、産業連関表みたいに全体の投資に対して全体の効果がどれだけ地域的、また、各市町村に対してあるのかというような形での指標は出していない。
- ・行政側として、15億の投資がどういう形で反映されるのかを数字的に表わすことは難しいと思うが、県として530億の経済効果があり、15億というのはもっと投資しても良かったというふうに胸を張って言えるかどうか、そのあたりはどうか。
- 国が行う産業連関もありますし、日銀や民間のコンサルがやっている経済効果の計算式というものもある。ただ、県が今のところは統一的に、例えば観光で何億円入れ、それに対してこういう基準で効果を計算するというものはない。
- ・事業採択をいただく際、審査会の皆さんが我々役所側の考え方と違う民間発想的な投資効果を言われたときに、投資する額に対しては効果をなかなか示しにくい。審査会の方でも非常に示しにくい指標であることを理解してもらいたい。
- ・佐川では紅茶について、二番茶を生かそうと取組んでいる。紅茶の販売は大変だと思っていたが、ある程度寝かして、味を出すということが大事だということをやっている。全農の方では販路について県内の喫茶などに向けて取組んでおり、販路はあるので頑張ろうということになっている。県の方でお茶の店を出しており、そこも活用して頑張ってみたいと考えている。
 - ・土佐茶のカフェの状況はどうか。
- 職員の話だとスイーツの部分も味的には東京から来られた方が非常においしいということです。少し値が張るかなという思いはあるが、全体的には評価は高いと聞いている。流域のお茶も出して、売っていただけということなんで、非常に拠点としては期待している。
- ・38項目で取り組んだところで、ほんとに成功した事例はもう少し詳細に説明していただいて、他の地区で取り組んでいる事業なども勉強させてもらいたいと思う。
- アクションプランの全体の動きについては、今回間に合わなかったが、スケジュールの際に説明させていただいた3月の末ごろに全体のフォローアップの委員会があるので、その場で、全体的な成長戦略と、地域アクションプランでの各地の動きについて県全体で分かりやすい形に整理し、資料として整えていきたいと考えている。また、来年度は早いうちに各市町村、また各団体の方にこうした資料で説明に上がりたいと考えている。
- ・今日、園芸品の品評会を地場産センターでやっている。今までは県民体育館でやっていたが、車を置くところが少ないことから、ちばさんセンターに移し、今年は県の応援も得てやっている。ぽつぽつ農協が出店しているが、アクションプランでの地域の成果を園芸品に限らず、農林業祭のようなものに発展をさせて県民みんなで確認をし合う場が必要と思う。本日、県の課長にもお願いしたが、農協の方でもそのような企画を進めていきたいと思っているので、県でもアクションプランの発表の場として、一緒に考えて欲しいと思う。
- アクションプランで皆さんの実施した事業をできるだけ外へ向かって売っていこうというのは、今後の大きな柱にもなっている。先ほどのようなイベントや販売のための促進会議など、連携して取組んでいきたい。